

「歯科の感染対策」を考える シンポジウム

—より安全・安心な医療を目指して—

幼少期に受けた予防接種の際の、注射器の使い回しにより多くの方がB型肝炎に感染しました。

被害者数は40数万人にのぼり、他に類をみない医療行為による感染事故です。

今回の基調講演では病院と歯科医院の両方で診療の経験を持つ歯科医師が

歯科の感染対策の現状と問題点を報告いたします。

歯科に求められる感染対策は何か？ さらに患者が望むことは？

今後の歯科医療での感染対策を一緒に考えましょう。

【日時】

11月5日[日]

14時～17時(開場13時半)

【場所】

福岡センタービル (10階会議室)

〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅前2-2-1

参加無料

お申込みは
不要です。

(定員約150名)

会場



第1部 (14時～15時)

①基調報告(30分) **B型肝炎感染被害と歯科への思い**

全国B型肝炎訴訟原告団代表 田中 義信氏

②基調講演(30分) **歯科の感染対策について**

歯科医 濱崎 啓吾氏(東京歯科保険医協会理事)

第2部 (15時10分～17時00分)

パネルディスカッション(110分)

■福岡歯科保険医協会

副会長 浦川 修氏

■集団予防接種等によるB型肝炎感染拡大の検証及び再発防止に関する検討会 構成員

梁井 朱美氏(全国B型肝炎訴訟原告団)

■その他

問い合わせ

全国B型肝炎訴訟九州弁護団 事務局

〒819-0002 福岡県福岡市西区姪の浜4丁目8-2

TEL. 092-894-1781

主催：B型肝炎九州訴訟原告団、弁護団

共催：福岡歯科保険医協会、東京歯科保険医協会

協賛：全国保険医団体連合会